



平成 26 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名	<b>株式会社 フレンテ</b>	
代表者	代表取締役社長	小池 孝
(コード番号)	2226)	
問合せ責任者	専務取締役	田子 忠
(TEL)	03-3979-2116)	

### 第三者割当による新株式の発行及び 主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 10 月 30 日開催の取締役会において、以下のとおり、日清食品ホールディングス株式会社（以下「日清食品HD」といいます。）に対して第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当」といいます。）を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

また、本第三者割当によって、主要株主である筆頭株主の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

#### I. 第三者割当による新株式の発行

##### 1. 募集の概要

(1) 払 込 期 日	平成 26 年 11 月 18 日（火曜日）
(2) 発 行 新 株 式 数	普通株式 894,000 株
(3) 発 行 価 額	1 株につき 2,638 円
(4) 調 達 資 金 の 額	2,358,372,000 円
(5) 募 集 又 は 割 当 方 法 ( 割 当 予 定 先 )	第三者割当により日清食品HDに全株式を割当てる。
(6) そ の 他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件とする。

##### 2. 募集の目的及び理由

当社は、平成23年5月11日付「日清食品ホールディングス株式会社との業務・資本提携に関するお知らせ」及び平成24年5月21日付「業務・資本提携契約の変更、第三者割当による新株式の発行並びに支配株主、主要株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、日清食品HDとの間で、両社間の業務・資本提携（以下「本業務・資本提携」といいます。）に関する契約（以下「本業務・資本提携契約」といいます。）を締結しており、本業務・資本提携契約に従い設置された協働推進委員会のもと、開発・マーケティング・調達・生産・営業といった事業活動全般における協働関係の構築・強化を進めてまいりました。

本業務・資本提携以来、両社の人材交流を積極的に進めるとともに、商品開発面では両社のコラボレーション商品から段階的に共同開発のレベルを上げ、平成25年には即席めんのノンフライ技術をポテトチップスに応用した新技術商品の開発に成功するなど両社の技術シナジーも創出されております。また、海外事業での協働では、平成26年1月に日清食品HDの香港における子会社である日清食品有限公司と当社との間の合弁会社となる日清湖池屋（中国・香港）有限公司を設立いたしました。

当社におきましては、少子高齢化で縮小する日本の菓子マーケットにおいて新たなカテゴリーに進出するために日清食品グループの技術を活用すること、及び潜在成長力のある海外の菓子マーケットへ迅速に進出する

ために日清食品グループが保有する世界各国の拠点インフラを活用することが、今後の成長に有効となってまいります。そのため、当社は日清食品HDとの間において、開発・マーケティング・調達・生産・営業といった事業活動全般での更なる協働を行うとともに、当社の原点である独創的でユニークな新商品創出のため、及び「カラムーチョ」への集中戦略で成功した台湾モデルを他の海外エリアへ拡大するため、日清食品グループとの更なる関係強化が重要と考えております。

そして当社が上記成長戦略を確固たるものとするため、下記「3. (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載のとおり、各種投資資金及び諸施策実施のための資金を確保することを目的として、第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当」といいます。）を行うこととし、割当予定先として日清食品HDを選定いたしました。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	2,358,372,000円
② 発行諸費用の概算額	17,500,000円
③ 差引手取概算額	2,340,872,000円

(注1) 発行諸費用の概算額は、書類作成費用、弁護士費用、登記費用等を見込んでおります。

(注2) 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 新商品、新規事業等への投資	440	平成27年1月～平成28年12月
② 生産の効率化、品質の向上及び機能拡充を目的とした食品製造設備の更新	800	平成27年1月～平成29年6月
③ 海外事業拡充、展開のための投融資資金	1,100	平成27年1月～平成28年12月

- ① 当社は、発売30周年を迎える「カラムーチョ」を筆頭に独創的でユニークなブランドに強みがあり、新商品や新規事業等につきましても楽しさやおいしさの提供に邁進いたします。平成23年からの日清食品HDとの業務・資本提携により、即席めんノンフライ技術をポテトチップスに応用した新技術商品の開発に成功するなど両社の技術シナジーも創出されており、引き続き共同での研究開発等に投資するとともに、ブランド拡大のための各種調査及びプロモーション費等に充当いたします。
- ② 当社は、日本で初めてポテトチップスの量産化を成し遂げるなど、お客様においしい商品を提供する製造技術を重要視しております。当社の連結子会社（完全子会社）である株式会社湖池屋が所有する関東工場、関東第二工場及び京都工場に最新・最適の製造設備を更新することで生産の効率化のみならず、更なる品質の向上が可能になると考えております。
- ③ 当社は、海外事業拡充を重要な成長ドライバーであると位置付け、既存国における事業拡大に努めるとともに、新たな進出国に対する各種調査、設備投資、プロモーション等を行ってまいります。新たな進出国に関しましては、日清食品グループが保有する世界各国の拠点インフラの活用等により迅速な展開が可能になると見込まれます。

(注1) 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座において管理又は安全性の高い金融資産にて運用する予定です。

(注2) 持株会社である当社は、上記①及び②につきましては、支出予定時期において当社グループの事業を行う株式会社湖池屋に対して融資し、同社において借入れた金額を上記の資金使途に充当する予定です。

#### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、本第三者割当により調達した資金により、上記「3. (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載のとおり、当社の連結子会社（完全子会社）である株式会社湖池屋が所有する食品製造設備の更新、新商品・新規事業等への投資、及び海外事業の拡充・展開のための投融資を行うことで、当社グループの企業価値の向上につながると期待されることから、本第三者割当の資金使途については合理性があるものと考えております。

#### 5. 発行条件等の合理性

##### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

1株当たりの払込金額につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日（平成26年10月29日）までの過去1ヶ月の株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）JASDAQスタンダード市場における当社普通株式の終値の平均値である2,638円といたしました。なお、当該払込金額は、直前営業日の終値2,753円からのディスカウント率が4.18%、直前営業日までの過去3ヶ月間の終値の平均値2,583円からのプレミアム率が2.13%、直前営業日までの過去6ヶ月間の終値の平均値2,517円からのプレミアム率が4.81%となっております。

過去1ヶ月の平均値を基準とした理由は、①取締役会決議日の直近の期間において、それ以前に比較して、当社株式の市場での売買出来高が一時増加し、当社が特段重要な適時開示を行っていない中で株価が大きく上昇した状況を勘案し、一時的な相場変動による影響を受ける可能性のある取締役会決議日直前日の終値のみを参考とするよりも、一定期間の平均値を採用する方が合理的であり、②一定期間の平均値を採用する場合も、なるべく本第三者割当と時間的に近接した期間とすべきと判断したためであります。上記払込金額は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠して算定されたものであり、特に有利な払込金額に該当しないものと判断しております。

なお、当社監査役3名（うち社外監査役2名）は、本第三者割当の実施を決議した本日開催の取締役会において、払込金額である2,638円は、当該取締役会決議日の直前営業日の終値、その日から3ヶ月又は6ヶ月間の終値平均のいずれの株価に対しても90%以上となることから、上記日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に照らして、割当予定先に特に有利な払込金額には該当しない旨の意見を表明しております。

##### (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により増加する株式数は894,000株（議決権8,940個）であり、本第三者割当により、当社の平成26年6月30日現在の発行済株式数4,441,000株（総議決権数44,395個）に対して20.13%の割合（総議決権数に対する割合20.14%）で希薄化が生じることとなります。

しかし、日清食品HDとの本業務・資本提携の更なる強化によって、顧客に対する新たな価値の迅速かつ効率的な提供が可能となることなどを勘案すれば、本第三者割当による日清食品HDとの関係の強化は、当社グループの企業価値の向上につながるものであります。

したがって、当社としては、本第三者割当により短期的には株式の希薄化は生じるものの、中長期的な観点からは、当社と日清食品HDの間における事業活動全般での更なる協働関係の構築・強化、並びに、当社の連結子会社（完全子会社）である株式会社湖池屋における一層の事業拡大と国際化のために本第三者割当による資金を充当することにより当社グループの業績、企業価値の向上が期待でき、ひいては株主の皆様利益の向上につながるため、本第三者割当の発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

#### 6. 割当予定先の選定理由等

##### (1) 割当予定先の概要（平成26年3月31日現在）

(1) 名 称	日清食品ホールディングス株式会社
(2) 所 在 地	大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長・CEO 安藤 宏基
(4) 事 業 内 容	即席めんを主とする食品製造販売を行う会社などを傘下に持つ持株会社

(5) 資 本 金	25,122 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	昭和 23 年 9 月 4 日	
(7) 発 行 済 株 式 数	117,463,685 株	
(8) 決 算 期	3 月 末 日	
(9) 従 業 員 数	8,357 名 (連結)	
(9) 主 要 取 引 先	即席めんを主とする食品を事業会社を通じて小売業・卸売業へ販売しております。	
(10) 主 要 取 引 銀 行	株式会社みずほ銀行、株式会社三菱東京 UFJ 銀行、株式会社三井住友銀行、みずほ信託銀行株式会社	
(11) 大株主及び持株比率	公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	6.72%
	三菱商事株式会社	6.64%
	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	6.30%
(12) 当事会社間の関係	資 本 関 係	当該会社は、当社の発行済株式総数の 20.00%を保有しております。
	人 的 関 係	当該会社より 1 名を当社取締役を選任するほか、当社子会社に 4 名の出向者を受け入れております。また、当社グループから当該会社の子会社である日清食品株式会社に 4 名が出向しておりますとともに、当該会社の香港における子会社である日清食品有限公司と当社との間で設立した合弁会社、日清湖池屋 (中国・香港) 有限公司に 1 名が出向しております。
	取 引 関 係	業務提携先。提携の具体的内容は以下のとおりです。 ①商品開発およびマーケティングに関する分野 a) 「UNIQUE PROJECT」を基軸として両社のもつブランドと独自の技術の掛け合わせにより商品ラインアップを拡充し、新たなブランド価値の創造を行う。 b) 両社がこれまで牽引してきたスナック菓子および即席めんのカテゴリーを横断した、これまでにない新たなコンセプトブランドの創造・育成を行う。 c) 両社の長年にわたるスナック菓子と即席めんの技術を融合させたノンフライスナックをはじめとして、新たな価値を提供する研究開発を推進する。 ②営業に関する分野 両社の菓子流通および即席めん流通チャンネルにおける強みを掛け合わせ、流通の全業態・全エリアでの営業協力を行い、両社グループのマーケット力を向上させる。 ③資材調達機能、生産機能、物流機能などの機能面および安全に関する分野 a) 資材調達に関し、共同調達の実施および新た

		<p>な調達方法の検討を行う。</p> <p>b) 両社グループの最適な生産技術の開発および物流ラインの相互利用を行う。</p> <p>c) 業界随一の安全・安心体制の更なる向上を目指し、品質検査機能の共有化を行う。</p> <p>④海外事業に関する分野</p> <p>a) 両社海外事業のグローバル化を目的としたビジネスモデルの検討を進め、香港における合弁会社設立に次ぐモデルを打ち出す。</p> <p>b) 海外現地のマーケティング調査データの共有を行う。</p>
	<p>関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況</p>	<p>当該会社は当社の主要株主で、その他の関係会社であり、関連当事者に該当します。</p>

(13) 最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期
連 結 純 資 産	286,657	315,026	342,300
連 結 総 資 産	414,717	446,132	479,469
1 株 当 た り 連 結 純 資 産 (円)	2,545.31	2,782.25	3,018.82
連 結 売 上 高	380,674	382,793	417,620
連 結 営 業 利 益	26,211	23,954	27,705
連 結 経 常 利 益	28,099	30,964	34,840
連 結 当 期 純 利 益	18,538	18,855	19,268
1 株 当 た り 連 結 当 期 純 利 益 (円)	167.97	171.12	174.83
1 株 当 た り 配 当 金 (円)	75.00	75.00	75.00

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(注) 割当予定先である日清食品HDは、東京証券取引所市場第一部に上場しており、同社が同証券取引所に提出している「コーポレートガバナンス報告書」の「内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況」欄に記載している行動規範(6)「市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体とは、一切の関係を遮断する。」との内容、及び「反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況」の内容を確認し、日清食品HD、その役員及び主要株主が反社会的勢力とは一切関係がないと判断しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

上記「2. 募集の目的及び理由」をご参照ください。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、日清食品HDが当社株式を中長期的に保有する方針であることを確認しております。

なお、当社は、日清食品HDから、本第三者割当の払込期日から2年以内に本第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、日清食品HDが平成26年7月31日に公表した平成27年3月期第1四半期決算短信に記載の財務諸表(平成26年6月末時点)における総資産額(471,691百万円)、純資産額(341,248百万円)及び現預金の額(88,269百万円)の状況を確認した結果、日清食品HDは本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な資金を有しているものと判断しております。

## 7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成26年6月30日現在）		募 集 後	
小池 孝	21.32%	日清食品ホールディングス株式会社	33.41%
日清食品ホールディングス株式会社	20.00%	小池 孝	17.74%
小池 陽子	8.04%	一般社団法人湖池の会	7.61%
岸田 篤子	7.21%	岸田 篤子	6.00%
小池 渉	4.23%	小池 渉	3.52%
有限会社ダブリュー・ビー・ファイブ	4.05%	有限会社ダブリュー・ビー・ファイブ	3.37%
フレンテグループ従業員持株会	4.00%	フレンテグループ従業員持株会	3.33%
小池 裕子	1.69%	小池 裕子	1.40%
岸田 美奈子	1.00%	岸田 美奈子	0.81%
岸田 亮	1.00%	岸田 亮	0.81%
岸田 俊	1.00%	岸田 俊	0.81%

（注）平成26年6月30日現在の株主名簿を基準とし、平成26年10月29日までに大量保有報告書等により異動が確認できるものにより作成しております。

## 8. 今後の見通し

本第三者割当による平成27年6月期連結業績に与える影響につきましては軽微なものを見込んでおります。

## 9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

## 10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

### （1）最近3年間の業績（連結）

	平成24年6月期	平成25年6月期	平成26年6月期
連 結 売 上 高	30,608百万円	29,128百万円	30,869百万円
連 結 営 業 利 益	△340百万円	△198百万円	340百万円
連 結 経 常 利 益	△301百万円	△129百万円	377百万円
連 結 当 期 純 利 益	△295百万円	△106百万円	169百万円
1株当たり連結当期純利益	△77.54円	△23.92円	38.07円
1株当たり配当金	47.50円	47.50円	47.50円
1株当たり連結純資産	2,335.41円	2,278.54円	2,262.44円

### （2）現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成26年10月29日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	4,441,000株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成24年6月期	平成25年6月期	平成26年6月期
始 値	1,933 円	1,970 円	2,150 円
高 値	2,065 円	2,350 円	2,525 円
安 値	1,750 円	1,870 円	2,053 円
終 値	1,970 円	2,151 円	2,480 円

② 最近6か月間の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
始 値	2,260 円	2,315 円	2,434 円	2,480 円	2,505 円	2,620 円	2,590 円
高 値	2,334 円	2,430 円	2,525 円	2,515 円	2,630 円	2,620 円	2,820 円
安 値	2,260 円	2,313 円	2,402 円	2,470 円	2,496 円	2,551 円	2,583 円
終 値	2,325 円	2,426 円	2,480 円	2,505 円	2,625 円	2,620 円	2,796 円

(注) 10月の株価は10月28日までの参考値であります。

③ 発行決議日前営業日における株価

	平成26年10月29日
始 値	2,784 円
高 値	2,794 円
安 値	2,753 円
終 値	2,753 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

払 込 期 日	平成24年6月20日
調 達 資 金 の 額	1,369,830,000 円 (差引手取概算額)
発 行 価 額	1株につき2,110円
募 集 時 に お け る 発 行 済 株 式 数	3,788,000 株
当 該 募 集 に よ る 発 行 株 式 数	普通株式653,000株
募 集 後 に お け る 発 行 済 株 式 総 数	4,441,000 株
割 当 先	日清食品ホールディングス株式会社
発 行 時 に お け る 当 初 の 資 金 使 途	①生産性の向上、品質の向上及び機能拡充を目的とした関東工場及び京都工場の食品製造設備(当社の連結子会社(完全子会社)である株式会社湖池屋が所有)の更新 ②当社の連結子会社(完全子会社)である株式会社湖池屋による新規開発商品製造設備の新設
発 行 時 に お け る 支 出 予 定 時 期	平成24年7月～平成26年6月
現 時 点 に お け る	①生産性の向上、品質の向上及び機能拡充を目的とした関東工場及び京都工場の

充 当 状 況	食品製造設備（当社の連結子会社（完全子会社）である株式会社湖池屋が所有）の更新 ②当社の連結子会社（完全子会社）である株式会社湖池屋による新規開発商品製造設備の新設
---------	---

## 11. 発行要項

(1) 発行新株式数	普通株式 894,000 株
(2) 発行価額	1 株につき 2,638 円
(3) 発行価額の総額	2,358,372,000 円
(4) 資本組入額	1 株につき 1,319 円
(5) 資本組入額の総額	1,179,186,000 円
(6) 募集方法	第三者割当の方法
(7) 申込期日	平成 26 年 11 月 18 日
(8) 発行期日（払込期日）	平成 26 年 11 月 18 日
(9) 割当予定先及び割当株式数	日清食品HD 894,000 株
(10) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件とする。

## II. 主要株主である筆頭株主の異動について

### 1. 本第三者割当による主要株主である筆頭株主の異動

#### (1) 異動予定年月日

平成 26 年 11 月 18 日（本第三者割当の払込期日）

#### (2) 異動が生じる経緯

主要株主であった日清食品HDは、本第三者割当により、新たに主要株主である筆頭株主になる見込みであります。また、当社の主要株主である筆頭株主である小池孝氏（当社代表取締役社長）は、本第三者割当により当社の筆頭株主に該当しなくなる見込みであります。

#### (3) 異動する株主の概要

##### ① 新たに主要株主である筆頭株主となる株主

名称 日清食品ホールディングス株式会社

その他所在地等の概要につきましては、上記「I. 第三者割当による新株式の発行 6. (1) 割当予定先の概要（平成 26 年 3 月 31 日現在）」をご参照ください。

##### ② 主要株主である筆頭株主に該当しなくなる株主

氏名	小池 孝
住所	東京都渋谷区
当社との関係	小池孝氏は、当社代表取締役社長を務めております。



(4) 異動前後の当該株主が所有する議決権の数、所有株式数及び総株主の議決権の数に対する割合（議決権所有割合）

① 日清食品ホールディングス株式会社

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合	大株主順位
異動前 (平成 26 年 6 月 30 日現在)	8,882 個 (888,200 株)	20.01%	第 2 位
異動後	17,822 個 (1,782,200 株)	33.42%	第 1 位

② 小池孝氏

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合	大株主順位
異動前 (平成 26 年 6 月 30 日現在)	9,466 個 (946,620 株)	21.07%	第 1 位
異動後	9,466 個 (946,620 株)	17.75%	第 2 位

(注 1) 異動前及び異動後の総株数の議決権の数に対する割合は、表示単位未満を四捨五入しております。

(注 2) 異動後の総株主の議決権の数に対する割合は、平成 26 年 9 月 29 日付けで提出した有価証券報告書に記載された平成 26 年 6 月 30 日現在の総株主の議決権の数 44,395 個（単元未満株式を除きます。）に、本第三者割当に伴い増加する議決権の数（8,940 個）を加えた議決権の数（53,335 個）を分母としております。

(注 3) 当社の単元株式数は 100 株となっております。

(5) 今後の見通し

新たに主要株主である筆頭株主となる日清食品HDの保有方針については、上記「I. 第三者割当による新株式の発行 6.(3) 割当予定先の保有方針」をご参照ください。

また、今回の主要株主である筆頭株主の異動による当社の連結業績への影響はございません。

以 上